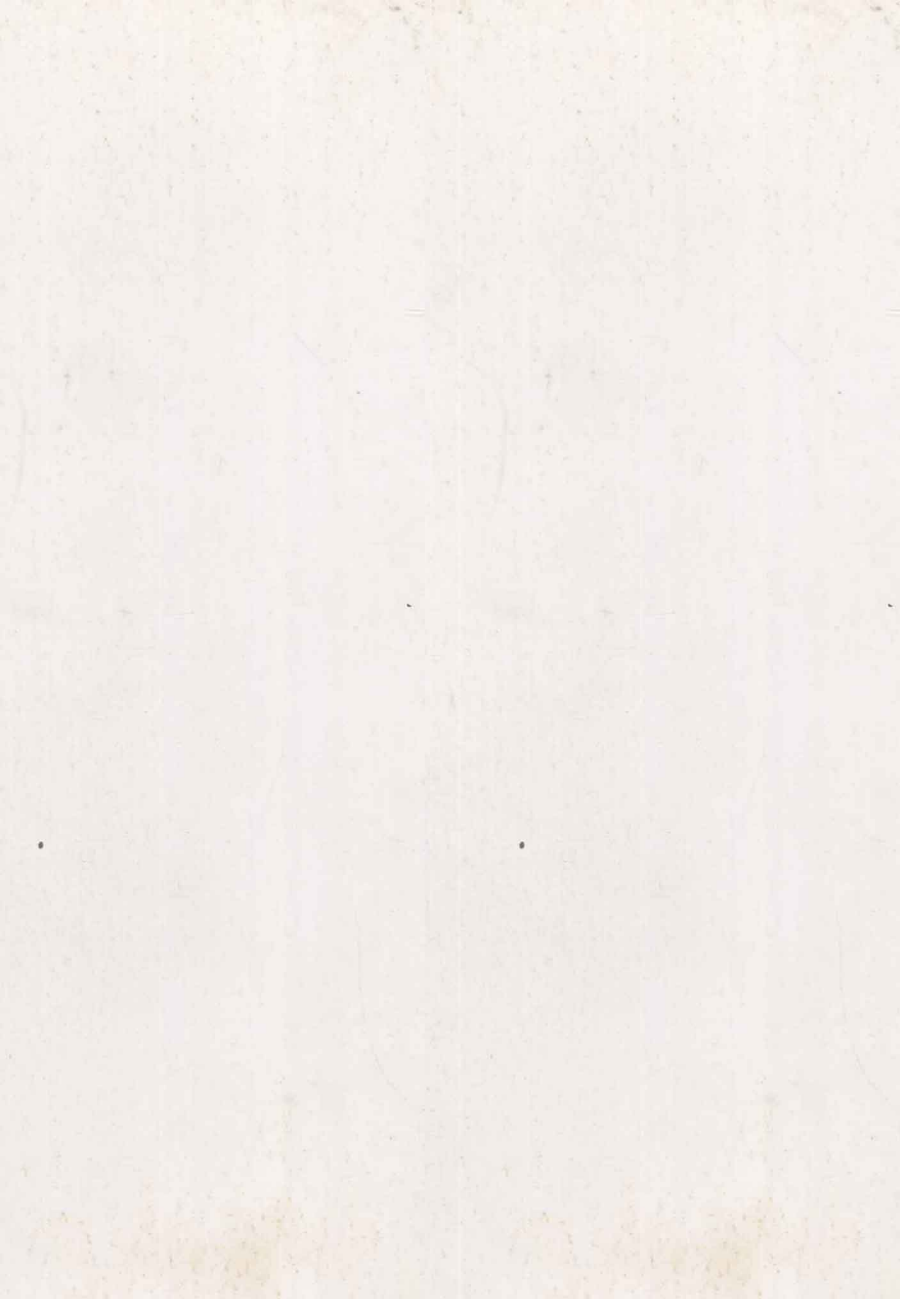




伊藤 整

日本文壇史

開化期
の人々

1

講談社

日本文壇史

(黒柳製本)

昭和二十八年十一月三十日 初版發行
昭和二十九年十月三十日 十版發行

定價 三六〇圓

著者 伊 藤 整

發行者 野間省一
東京都文京區音羽町三ノ十九

印刷者 山元正宜
東京都文京區柳町二六

印刷所 三晃印刷株式會社
東京都文京區柳町二六

發行所

株式會社

大日本雄辯會講談社
東京都文京區音羽町三ノ十九

振替口座電話代書
東京三九三〇大塚(94)三三二一

著者・編者・印刷所は取敢えず致しませう

索引

A

- 養庭簗村 75, 130, 237.
 愛知英語學校 92.
 相原尙饗 180—181.
 愛國社 58, 144.
 「安愚樂鍋」
あぐらかべ 7—8, 31.
 赤松則良 21.
 秋山國三郎 285.
 「安政見聞誌」 12.
 青木周藏 239.
 荒木舜海 135, 136, 137.
 「朝日新聞」 145—148.
 淡島寒月 281.
 「安都滿新聞」
あづま 144.
 「吾妻新誌」 252.

B

- ボアソナード 54.
 馬場辰猪 184, 212, 214.
 晚青堂 254.

C

- 「地底の露西亞」 243.
 秩父事件 241, 243.
 「蓄妾廢止論」 271.
 珍猫百覽會 134—135.

- 「朝野新聞」 32, 42, 46, 78, 108,
 110, 116, 129, 158, 184, 231, 245,
 246.

- 「中央學術雜誌」 278.
 「中外廣聞新報」 251.

D

- 同人社 69, 221.
 同人雜誌 264.
 「同樂相談」 115.
 同志社 101, 103, 267.
 デュマ 201, 202, 203.

E

- 海老原穆 59, 60, 86.
 英語學校 30, 31, 91, 92, 100.
 「江戸繁昌記」 38.
 「穎才新誌」 114.
 「繪入朝野新聞」 245—246.
 「繪入自由新聞」 201, 203, 231.
 圓 朝 99.
 榎本武揚 21.
 江藤新平 15—18.

F

- フェロノサ 150—151, 215.
 「風雅新誌」 115, 250.

- 藤田茂吉(鳴鶴) 60, 85, 109, 207,
218.
福地櫻痴 29—30, 47—51, 59,
60, 85, 86, 110, 112, 165, 184—
185, 219.
福島事件 197, 240.
福澤諭吉 5—7, 61—62, 63, 109,
128, 165, 168, 169, 170, 248, 260.
古澤滋 16, 50, 58, 191.
二葉亭四迷 138, 262—263, 280,
282—284.

G

- 外國語學校 27—31, 140, 141,
283, 284.
「慨世士傳」 261.
學農社 246.
「我樂多文庫」 264.
元老院 58, 59.
「月世界旅行」 154.
銀座 55—56, 156—158.
後藤新平 180.
後藤象二郎 15, 58, 186, 189, 190.
群馬事件 241, 243.

H

- 「八十日世界一週」 153.
芳賀矢一 262.
花笠文京 9, 95.
はなびるもやなぎのいとほころび
「花裳柳絮綻」 127.

- 長谷川萬次郎(如是閑) 254.
長谷川友章 136.
服部撫松 38, 39, 84, 85, 113, 220,
226, 250, 252, 272.
ヘボン 58.
樋口一葉 93.
樋口則義 93.
「平假名繪入新聞」 71, 72.
廣津柳浪 140, 141—142.
「百學連環」 22—23.
「百一新論」 20—22.
「評論新聞」 59, 60, 79, 81, 86, 87,
107.

- 「鳳鳴新誌」 115.
「芳譚雜誌」 115, 246.
「報知新聞」 205, 207.
星野慎之輔(天知) 67.
星亨 231—232.
ホートン 149, 214, 215.
穂積八束 238.

I

- 市川團十郎 131—132.
市村座 131.
井上馨 58, 168—169.
井上毅 214, 267.
井上勤 154.
井上哲次郎 174—178.
犬養毅 109, 166, 172, 191.
「いろは文庫」 76.

「いろは新聞」 145.

「維氏美學」 208.

石橋思案(助三郎) 261, 263, 280.

石井南橋 113—114.

石坂昌孝 285, 286.

入澤達吉 141.

板垣退助 14, 58, 108, 144, 167,
179—180, 181, 184, 185, 187, 189
—192, 204, 232.

伊藤博文 14, 49, 58, 106, 168—
169, 170—172, 189, 192, 214, 240,
249.

岩倉具視 14, 103, 164.

巖本善治 70, 270—271.

J

ジェーンス 100—101.

「時事新報」 170, 184, 191—192.

「自由乃凱歌」 202.

「自由の理」 69, 195.

「自由太刀餘波鋭鋒」
じいうのたもなびりのされまげ 226—228.
230.

「自由燈」 230, 233, 234, 243.

「自由新聞」 184, 185, 191, 231,
253.

自由黨 167, 179, 190, 218, 219.
240, 242.

「人權新説」 212.

「女學新誌」 270.

「女學雜誌」 269—271.

K

加波山事件 241.

「花月新誌」 113, 115.

景山英子 288—289.

開成所 26.

開成學校 27, 30, 54, 93, 97—98,
148.

改進黨 172, 184, 191, 218, 242.

開拓使農學校 90.

鍛冶橋監獄 79.

「佳人之奇遇」 260, 282.

假名垣魯文 3, 4, 7—13, 31, 43—
44, 45, 73—74, 94, 114, 122, 124
—125, 126—127, 134, 142, 145,
271, 272, 275.

金森通倫 101, 102.

「假名讀新聞」
かなよみ 73—74, 122, 123,
127.

神田孝平 36.

「汗血千里駒」 202, 233.

「官民調和論」 268.

「花柳春話」 151—153, 154.

加藤弘之 64, 96—97, 210, 212,
213, 214.

加藤高明 92.

勝海舟 102, 269.

川上眉山 261, 264.

川島忠之助 153.

河鍋曉齊 125.

- 河野廣中 195—197.
 河原崎座 131.
 河竹新七(默阿彌) 10, 13, 70,
 128, 132, 133, 134.
 「經國美談」 204, 205—208.
 ケプロン 90.
 慶應義塾 7, 109, 205.
 「經世偉勳」 208.
 硯友社 281.
 木戸孝允 14, 55, 58, 59, 106, 112,
 170.
 木村鐙子 269—271.
 金玉均 248, 249, 287.
 「金之助の話」 139, 152.
 「基督教新聞」 271.
 岸田吟香 52—54, 55, 60—61, 136.
 岸田俊子 181—183, 199—200,
 201, 233, 288.
 「鬼歌々」 243, 253.
 北村美那子 286.
 北村透谷 163, 221—222, 223—
 224, 284—289.
 「京華春報」 252.
 「虛無黨退治奇談」 244.
 共立學社 69, 146, 147, 266.
 九春社 251, 252.
 小林樟雄 248, 249, 287.
 幸田露伴 66—68, 280—282.
 幸堂得知 237.
 「廣益問答新聞」 85, 251.
 「公布日誌」 169, 170.
 鴻鵠學舍 174.
 國會開設 164, 166, 167.
 「國體新論」 210, 211.
 「江湖新聞」 48, 220, 251.
 「今日新聞」 272.
 金春藝者 123.
 「腰拔新聞」 203.
 「高知新聞」 201, 202.
 「公娼制度撤廢論」 271.
 小新聞(こしんぶん) 47, 74.
 久我須之助 263.
 熊本洋學校 100—101.
 クラーク 88, 91—92, 117—120.
 121.
 栗本鋤雲 44—45, 50, 57, 144,
 207.
 栗原亮一 234.
 黒田清隆 89—92, 117, 164.

 L
 リットン 149, 151, 230, 261.

 M
 前田香雪 71, 75, 217, 237.
 眞野秀俊 254.
 丸岡九華 263, 264.
 正岡子規 262, 264—265.
 〔團々珍聞〕
まるまるちんぷん 113, 114, 171, 197,
 241, 250.

「明治日報」 189, 222.
 丸谷新八 252, 272.
 丸屋善七(丸善) 177, 178.
 明治法律學校 160, 221, 272.
 「明治協會雜誌」 278.
 明治女學校 269—271.
 明六社 61—64.
 「明六雜誌」 18, 20, 25, 61—64, 66.
 松田正久 159, 160.
 「民間雜誌」 169.
 「民選議院設立連白書」 16, 18.
 「民權田舍歌」 178, 213.
 「民權自由論」 178, 213.
 「民權數へ歌」 235.
 「民約譯解」 190, 209.
 三島通庸 195, 196—197, 240, 241.
 三 菱 147, 191, 259.
 箕作秋坪 61, 62, 63.
 宮部金吾 121.
 ミル 69, 195.
 三宅雄二郎 93—94.
 「妙々雜組」 115.
 宮崎夢柳 201, 233, 243, 245.
 宮崎璋藏 67.
 村上英俟 29.
 村山龍平 145, 147.
 陸奥宗光 59, 143.
 森鷗外 24—26, 141, 235—239.
 守田寶丹 246.
 守田勘彌 131.

守田座 130, 131.
 森有禮 18, 19, 61—64, 103, 177.

N

「内外政黨事情」 220, 226, 251, 252.
 中江兆民 29—30, 48, 159, 160, 168, 184, 186, 187—188, 190, 209, 219, 233.
 中島信行 168, 181, 200, 232—233.
 中村正直 64, 66, 68—69, 221.
 半井桃水 146—147.
 永富謙八 174, 216, 276.
 「名聞 面 赤本」 10, 11, 12.
 成島司直 32, 36.
 成島柳北 32—37, 50, 57, 77, 78, 79, 82—87, 108, 110, 113, 172, 184, 245, 246, 247—248.
 夏目直克 93.
 夏目漱石 261.
 新島襄 101, 102—104, 267.
 「人情雜誌」 115.
 日報社 53, 116, 158.
 「日本開化小史」 190, 266.
 西 周 18—25, 63, 236.
 西村茂樹 18, 64.
 日新舍 48.
 「日新眞事誌」 40, 42, 50.
 日就社 46, 75, 158.

新渡戸稻造 27—28, 89,

120, 121.

西田傳助 49.

丹羽純一郎(織田) 151—153.

「農學雜誌」 65, 270.

野村文夫 113.

野崎左文(蟹垣左門) 95.

O

落合芳幾 13, 70, 71, 74, 126.

大江義塾 188, 267.

大井憲太郎 50, 57, 144, 249, 287,
288.

岡倉天心 149—150.

岡千仞 222.

おきげのくもはらふあさごころ
「西南雲晴朝東風」 127.

大久保利通 14, 54, 58, 60, 106,
128—129, 170.

大隈重信 55, 106, 164—166, 172,
217, 221, 243, 250.

小野梓 186, 218, 219, 220, 226,
243, 250, 253.

大阪事件 288.

大島正健 27, 89, 91, 117, 121.

「歐洲美談」 244.

鷗渡會 218—219.

大矢正夫 285, 288.

尾崎紅葉 136—137, 261, 262, 263.

尾崎行雄 166, 167, 172, 207.

大新聞(おほしんぶん) 47.

P

ポオ 149.

R

「烈女之疑獄」 244.

立志社 16, 108.

「魯文珍報」 114.

「露國虛無黨事情」 244.

「柳橋新誌」 32—38, 77—78.

S

札幌農學校 92, 177.

「西國立志編」 66, 69.

西郷従道 55.

西郷隆盛 14, 15—16, 86, 106,
107, 111, 112—113.

齋藤綠雨(賢) 272—276, 277.

坂崎紫瀾 201, 203, 233, 241.

「魁新聞」 146.

櫻田百花園 203, 204.

西園寺公望 30, 159—161.

「猿若座」 130.

佐藤昌介 27—28, 88, 89, 91, 92,
117, 119.

せいじ たうこうしゃく
「清治湯講釋」 217.

西南戦争 143, 144.

「西南鎮靜錄」 128.

「政理叢談」 187, 190, 209.

「西洋道中膝栗毛」 3—5, 94.

「西洋血潮小暴風」 203, 204, 233.

關様登せきやま ぼん 157.

尺振八せきしんぼ 69, 146, 266.

關千代子 66.

シェークスピア 31, 175, 216, 223,
228.

澁澤榮一 48, 266.

島田三郎 59, 166, 167, 172.

島崎藤村 161—164.

進文學舎 25, 174, 216, 217, 229.

新聞供養 85.

新聞紙條例 60, 61, 129.

新聞小説 139.

神風連 105.

「眞政大意」 96—97, 210.

新體詩 176—179.

「新體詩抄」 177, 178.

新富座 127, 130, 132, 142.

四通社 251.

小學校令 26.

昌平疊 26.

正院 37.

小説改良會 277.

「小説神髓」 227, 278—280.

「春江奇縁」 226.

「春風情話」 154—155, 225.

「春窓綺話」 227.

「春野草誌」 115.

柚田策太郎 244.

染崎延房(二世春永) 10, 12, 76—

77, 126, 139.

末廣鐵腸 58, 61, 78, 79, 83—84,
184.

末松謙澄 50.

ステップニヤック 243, 244.

スコット 149, 154, 225.

スマイルズ 68.

T

田口卯吉 190—191, 265, 266, 267,
269.

臺灣征伐 54.

「臺灣通信」 55.

田島任天(象二) 113, 114, 244.

高田早苗 27, 88, 132, 149, 172,
220, 259.

高島藍泉 12, 51—52, 70, 71, 74,
85, 237.

武田谷齋(尾崎惣藏) 135, 136.

「高橋阿傳やしやものぶたり夜叉譚」 142, 152.

瀧澤馬琴 10—11, 94.

爲永春水 76.

田中不二麻呂 63, 91.

田中耕造 184.

田中正造 172.

田山花袋 111, 163—164.

帝政黨 185, 219.

寺門靜軒 38.

「天賦人權論」 212.

「天賦人權辨」 213.

- 「東肥新報」 188, 267.
 「東海道五十三驛」 134.
 「徳川實記」 32, 36.
 徳富蘆花 105—108, 267.
 徳富蘇峰 100—102, 103—104,
 105, 112, 187, 265, 267—268.
 「東京曙新聞」 61, 83, 116, 158.
 東京大學 132, 141, 148, 174, 236,
 259.
 東京英語學校 88, 283.
 「東京繪入新聞」 126, 139.
 東京醫學校 141, 236.
 「東京經濟雜誌」 266.
 「東京日日新聞」 42, 47, 52, 70,
 116.
 東京專門學校 220, 221, 222.
 「東京新繁昌記」 38—39, 40—41,
 84.
 「東京新誌」 84, 85, 113, 250—251,
 252.
 東京商業學校 283.
 「東京横濱毎日新聞」 158, 231.
 「當世書生氣質」 253—260, 275.
 外山正一 98, 175, 176, 177, 269.
 「東洋事情」 251.
 「東洋自由新聞」 159, 160, 161,
 170.
 坪内逍遙 30—31, 92—93, 94, 96,
 99, 100, 132, 141, 148—151, 154,
 173, 174, 205, 214—216, 217, 220,

225—230, 264, 271, 276, 280.

- 坪内信益 93, 154.
 津田仙 63, 65—66, 70.
 津田眞道 19, 21, 63.
 津田貞 145.

U

- 内田魯庵 154.
 内村鑑三 27—29, 89, 121, 122.
 宇田川文海 146.
 上田萬年 273.
 植木枝盛 81, 178, 213, 224, 235.
 植村正久 178.
 右 院 37.

W

- ヴェロン 208.
 ヴェルヌ 153.
 「和英語林集成」 53.
 若葉胡蝶園 95, 146.
 渡邊省亭 227.

Y

- 山田美妙 137—138, 261, 264.
 山田風外 245, 246, 250.
 山本松之助 254.
 山崎覺次郎 174, 216, 229.
 柳 橋 33—34, 78.
 矢野龍溪 109, 166, 167, 172, 204,
 205, 206, 218, 274.

八代六郎 92.

柳河春三 7.

矢田部良吉 175—176, 177.

よあらしおきぬはなのあだゆめ
「夜嵐於衣花仇夢」 127.

依田學海 227.

「横濱毎日新聞」 43, 73.

横瀬文彦 80, 85, 86.

「讀賣新聞」 45—47, 74, 76, 116,
158.

豫備門 132, 141, 148.

「郵便報知新聞」 42, 158, 172, 231.

ユウゴオ 192—193, 203, 204.

Z

ざんぱうりつ
「説謗律」 60, 129.



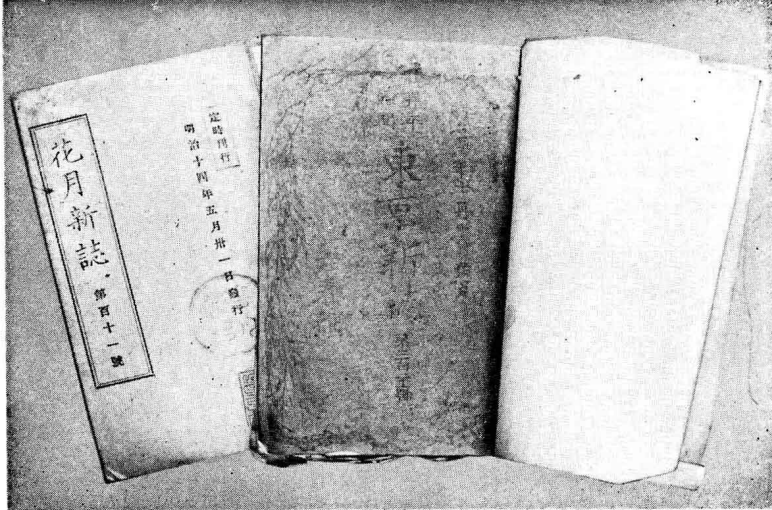
西洋道中膝栗毛（明治三年初刊）



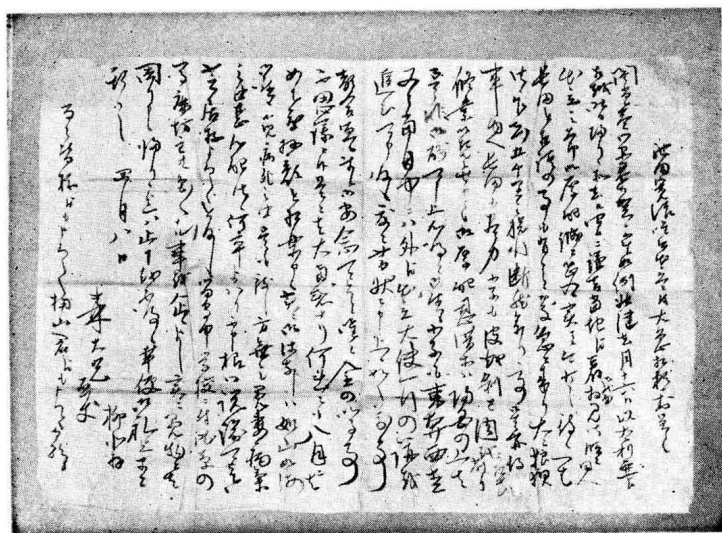
成島柳北



柳橋新話



東京新誌（明治九年初刊）と花月新誌（明治十年初刊）



柳北筆蹟

は し が き

昭和二十六年の八月頃、雑誌「群像」の編輯者大久保房男氏が私を訪ねて、近代日本の「文壇外史」とでも言ふべきものをその雑誌に連載し、かつ後に單行本として講談社から出版することを求めた。私はその年の夏から裁判事件の被告となつてゐて、身邊に落ちつきを得なかつたし、かつ實證的な文學史は、全く私の専門外の事に屬してゐたので、その任にあらず、と言つて、かたく斷つた。二度ばかり大久保君が無駄に足を運んだ後で、新しくその雑誌の編輯長となつた有木勉氏と同道して來て、またそのことを私に強ひた。私は目をつぶるやうな思ひでそれを承諾し、承諾した後で、また後悔した。

そしてその年の十二月初めに發行の、二十七年一月號から「日本文壇史」といふ題を私の案で設けて書き出した。私は通説に従ひ、坪内逍遙の出現を近代日本文學の出發とする立場で明治十八年から書き、約二年間の連載で明治の末に達する豫定であつた。私のところには文學史、

文壇人物史に關する參考書も十分でなかつたが、幸ひなことに講談社圖書館に、文學史關係の書物がある程度そろつてゐて、それを借用することができ、またその後多少の材料資料を私自身も手に入れることが出来るやうになつた。私は毎月、三十餘枚の原稿を書くのに、ほとんど肉體的にこたへるやうな思ひを重ねて、現在までほど二ヶ月書き續けた。豫定に反して、この文壇史は、明治十八年から書き出して、いま明治二十八年に達したにすぎない。しかし二十四回の連載で十年間の文壇史を書いたといふのは、今の私の考では、むしろよく捗つたやうに思はれるほどである。いかにこの期の文學史に資料が多く、かつ多數の研究家たちの研究や報告が山積してゐるかを、私はこの間に理解した。

一年間連載した昭和二十八年のはじめ、講談社出版局長山口啓志、學藝課長の窪田稻雄兩氏から話があり、擔當者としての中島和夫氏がこの書の出版に當つての加筆を求めた。その時、私は、第一卷、即ち明治十八年からの卷に、前置きとして、明治初年から坪内逍遙の「書生氣質」までの間の文壇事情を四五十枚で書き加へたいと申し出て、同氏の賛成を得た。その四五十枚の豫定の原稿は一ヶ月で出来る筈のところ、量が次第にふえ、その年の八月になつてやつ

と書き上つた時、それは、三百餘枚になつてゐた。それが本書の大部分、即ち第一章から第九章に當る部分である。昭和二十八年末までに「群像」に連載した分は、この第一卷に續き、更に第二卷第三卷となつて引き續いて出版される豫定である。

この本を書く間に、私は實に多くの先學の著書、研究書の助けを得た。その悉くをあげることはできないが、この分野での先驅的研究家としての柳田泉氏、本間久雄氏、久松潜一氏、勝本清一郎氏、鹽田良平氏、吉田精一氏、福田清人氏、中村光夫氏、日夏耿之介氏、島田謹二氏、舟橋聖一氏、服部之聰氏等の實證的な研究業績のお蔭を被ることが多かつたことは、ここに記して感謝の意を表さねばならない。これ等の諸家を含めて多くの學者の著書や研究論文については、私はその各項目についての索引年表的のものを作つてゐるので、やがてそれを發表する機會があらうかと思ふ。また雜誌連載中は毎月大久保房男氏に、この書物の編輯出版については中島和夫氏に、特に多くの勞を煩はしたことは著者として忘れたいところである。

本書に書かれてある多くの人物、事件、作品等は、それぞれ事實に即し、據り所のあるものである。ただ人物の心理的經緯については、私の推定を加味することによつて意味づけをし、